

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 相模原市立田名保育園

発効：平成 21 年 3 月 25 日（平成 24 年 3 月 24 日まで有効）



社団法人神奈川県社会福祉士会
福祉サービス第三者評価

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	サガミハラ シタナホ
事業所名 (正式名称を記載)	相模原市立 田名保育園
事業所住所 最寄駅	〒229-1124 神奈川県相模原市田名6229-2 JR 横浜線橋本駅下車 バス30分
事業所電話番号	042-761-0905
事業所FAX番号	042-761-1179
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 丸山 信江
法人名及び 法人代表者名	運営主体名 相模原市 代 表 者 相模原市長
e-mail	tana-ho@city.sagamihara.kanagawa.jp
問合せ対応時間	月曜日から土曜日 8:30~17:00

事業所の概要1

開設年月日	昭和31年6月1日 改築年月日平成19年4月1日
定員数	150名(乳児定員35名)
都市計画法上の用途地域	第1種中高層住居専用地域
建物構造	鉄筋コンクリート造り一部2階建て
面積	敷地面積(1,676)㎡ 延床面積(1,028)㎡

事業所の概要2(職員の概要)

総職員数	35名
うち、次の職種に該当する職員数	施設長(1名) 保育士(23名) 保健師・看護師(0名) 栄養士(0名) その他(非常勤保育士6 常勤調理員3 非常勤調理員1 庁務作業員1)

事業所の概要3(受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後2ヶ月~小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考:平日18時から19時まで
休日保育の実施	無	備考:
一時保育の実施	有	備考:平日8時30分から16時30分
障害児保育の実施	有	備考:
病後児保育の実施	無	備考:

保育の方針

意欲と思いやりのある子ども
・豊かな自然環境や様々な人との関わりの中で、意欲と思いやりのある子を育てる
・健康で安全な生活に必要な基本的な生活習慣を養い心身の健康の基礎を培う

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

優れている点・独自に工夫している点：

乳児・幼児の話し合い、職員会議を通して、保育士全員が、一人ひとりの子どもに対する配慮事項について共通意識をもつよう留意している。乳幼児クラスとも、スキンシップを大切にして、新たに出てきた問題や疑問は、その日のうちに必ず取り組むようにしている。

幼児クラスは、園内及び園庭で、自由に交流している。保育室はオープンスペースとなっており、異年齢での交流を通して、子どもが主体的、自主的に遊びを選択できるよう、おままごと、ブロック、製作、絵本等のコーナーを設置している。コーナーは子どもたちの興味に合わせて、内容を変更している。乳児クラスにもコーナーを設け、土曜日などに異年齢保育を行っている。

天気の良い日は、できるだけ外に出るようにしている。園外保育に行くときの留意事項を定め、防犯ブザーを携帯し安全に配慮している。また、公園別ヒヤリハットマップを写真入りで作成し、片道の所要時間や水道・トイレの有無、出入り口の数、遊具の特徴（危険箇所）を記入し、事故の防止に努めている。

園庭には鉄棒や跳び箱、2階のテラスには、すべり台やプレイジム、三輪車等の運動遊具、また乳児クラスには巧技台を揃え、身体を動かす楽しさを味わえるようにしている。

うさぎやかめなどの小動物を飼育したり、花や野菜を栽培することで、自然を身近に感じたり、生き物を大切に作る心を育てている。

ランチルームでの当番の他、花の水やり、カメの家そうじ、ゴミ出し、洗濯物集め、ゲタ箱掃除などのお手伝いを通して、感謝されたり、認められたりすることで、人の役に立つことに喜びを感じられるように保育している。

地域の子育て支援として、年間を通して園庭や「子育て支援室」を地域に開放している。地域担当職員を中心に、多くの交流事業を開催し、絵本や紙芝居、育児図書、遊具等の貸し出しも行っている。近隣の保育園と合同で、育児講座を行っている。

食に関する取り組みとして、乳児クラスではピーマンやオクラのスタンプを使って、食材に興味を持たせるようにしている。幼児クラスでは、当番の子どものランチオープンしましたの掛け声のもと、遊びにきりのついた子どもから順に、ランチルームを利用している。月に1回、保育士と給食室で献立についての話し合いを行い、保護者へは食育ボードとサンプルケースで情報提供をしている。保護者への試食会も催している。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、「田名保育園保育マニュアル」に定め、職員会議等により、共通認識をもち、保育に取り組んでいる。外国籍の保護者には、配布物にルビをふったり、行事の前には個別に説明したりして、個別の対応を日頃から心がけている。相模原市個人情報保護条例が制定されており、職員会議等での周知や園内に個人情報保護に関するパンフレットを掲示し、職員の意識の徹底をはかっている。また、実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては、受け入れマニュアルを整備し、プライバシーの保護について説明をするなどして、徹底をはかっている。
---	--------	---

2	<p>利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援</p>	<p>家庭との連絡・情報交換は、マニュアルで、手段、方法を定め、連絡帳や「すくすくカード」、園だより、クラスだよりのほか、その日の様子や連絡事項をホワイトボードに掲載し、一日の保育状況を知らせるなど、連絡を密にしている。</p> <p>クラス懇談会を年2回実施し、保護者の意見・意向を把握している。個人面談は全園児に年1回実施しているが、必要に応じてその都度行っている。保育ウィーク・公開保育は保護者に保育園での日常の様子を見てもらう機会とし、保護者参加の行事の後には、アンケートを実施している。また、保護者が意見や要望等を出しやすいように「ご意見箱」を設置し、日頃から保護者の希望や意向の把握に努めている。</p>
3	<p>サービスマネジメントシステムの確立</p>	<p>子どもが触れるおもちゃ、タオル、布団、砂場等の物品の除菌・消毒、遊具の安全保持の管理については、「園児健康管理マニュアル」「安全チェックリスト」に管理方法等を定め、点検実行記録をつけて、衛生面、安全面の管理に努めている。</p> <p>防犯・防災対策については、防犯訓練、避難訓練を実施し、職員会議で反省と見直しを行っている。避難訓練、危機管理の係を決め、係が中心になって訓練の様子や反省を職員会議で周知し、防犯体制作りにも努めている。また、災害等の発生時に備え、関係機関との情報交換のほか、市内の「公私立保育園緊急連絡網」により情報伝達訓練を実施している。</p>
4	<p>地域との交流・連携</p>	<p>地域の子育て家庭向けに、地域活動計画予定表「いっしょにあそぼう！」を作成し、「ハローキッズ」「ハローベビー」等の交流事業や保育園行事への参加を呼びかけている。園庭と子育て支援室は、年間を通じて地域に開放している。また、近隣保育園と合同で、「みんなのひろば」等の育児講座を開催している。</p> <p>地域の様々な人々とのふれあいや世代間交流の機会として、地域の高齢者施設や老人会との交流、中・高校生の体験学習の受け入れを行っている。</p>
5	<p>運営上の透明性の確保と継続性</p>	<p>大きな行事については、保護者アンケートを実施している。各行事の終了後は、その都度、反省会を開いて見直しをしている。また、年度末には年間行事や保育内容について検討を行い、次年度につなげている。自己評価の結果から、運動会の場所の決定や、発表会の時期の変更、送迎用駐車場の使用方法の変更、懇談会のお知らせを前年度に掲示する等の改善に取り組んだ。</p> <p>保育園の運営や事業内容について、地域からの理解が得られるよう、地域の方に向けて、園パンフレット等を用意している。また、保護者に保育園での子どもの様子をみてもらう機会として、保育ウィーク、公開保育（年2回）を年間行事予定表などで情報提供している。</p>
6	<p>職員の資質向上促進</p>	<p>保育理念や方針については、入園のしおり、「田名保育園保育マニュアル」に掲載するほか、保育目標を園内に掲示し、職員会議で周知して基本姿勢の共有化をはかっている。</p> <p>市保育課による保育所職員研修計画に基づき、内外研修を実施・受講している。園内研修は、園の自主研修係が中心となり自主研修年間計画を作成し、保育指針改訂、心肺蘇生法、不審者訓練、第三者評価等について研修を実施している。研修成果の共有のため、受講後には研修報告会を開催するとともに、復命書を作成して職員がいつでも閲覧することができるようにしている。</p>

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体 (調査確認事項全 81 事項) を通してのサービスの達成状況	100%
--	-------------

大項目 1 の内容 (概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理 (感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理 (防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>乳児・幼児の話し合い、職員会議を開き、職員同士が一人ひとりの子どもに対する配慮事項の共通意識をもつようになっている。</p> <p>整った生活リズムの中で、子どもの生理的要求をみだし、安心して過ごせるようにしている。</p> <p>子どもの発育発達について共通理解をして、一人ひとりにあった関わりを持つようになっている。</p>	<p>職員会議を毎月開催し、共通意識を持つようになっている。特に4月は2回開催している。会議記録は回覧し、確認日を記入している。乳幼児の話し合いは1ヶ月に1～2回開催している。(職員会議録や、乳幼児の話し合い会議録で確認した。)</p> <p>個人別配慮や指導計画はクラス担任が立てている。乳幼児クラスとも、スキンシップを大切に、子どもの情緒の安定を図り、安心して過ごせるようにしている。(保育日誌や、月指導計画等で確認した。)</p> <p>新たに出てきた問題や疑問については、その日のうちに必ずタイムリーに取り組むようにして、一人ひとりに合った関わりを持つようになっている。(保育日誌で確認した。)</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを心もてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>異年齢との関わりの中で優しい気持ち、思いやりの気持ちを育てている。</p> <p>仲間との存在や姿に気付けるように、友だちの行動や思いを伝え、互いに認めあえるようにしている。</p> <p>子ども一人一人の思いを受け入れ尊重し、認めることで他者と自分を大切にすることを心もてるようにしている。</p>	<p>幼児クラスでは、園内及び園庭で自由に交流している。また、クラス活動も大切に、夕方の時間等で活動を行っている。乳児クラスは、土曜日などに異年齢保育をしている。(オープン保育の様子や、保育日誌、写真等で確認した。)</p> <p>年間指導計画に目標を掲げ、相手の立場を理解したり、思いやりの気持ちを持てるようにしている。(オープン保育の様子や、保育日誌等で確認した。)</p> <p>保育士とのやりとりを通じて、スキンシップを図りながら、他者と自分を大切にすることを心もてるようにしている。(月指導計画や、保育日誌で確認した。)</p>

<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>当番活動や簡単なお手伝いを通して、感謝されたり、認められたりすることで、人の役に立つことに喜びを感じられるようにしている。</p> <p>散歩や行事などを通して、地域の人たちに接する機会をつくっている。</p> <p>年長児は年に数回老人ホームとの交流を行い、色々な人とのふれあいを大切にする中で、人と関わることの大切さを感じられる様にしている。</p>	<p>ランチルームでの当番の他、花の水やり、カメの家そうじ、ゴミ出し、洗濯物集め、ゲタ箱掃除などのお手伝いをしている。(ランチルームの様子、写真、保育日誌等で確認した。)</p> <p>天気の良い日は、できるだけ外に出るようにしている。ハローキッズでは地域の子どもたちとの交流を行い、園庭も開放している。誕生会では、地域の老人会の参加がある。(園庭での様子や、写真、地域日誌で確認した。)</p> <p>老人ホームへは、年4回訪問し、ゲーム等を一緒に行っている。(保育日誌や、写真等で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>年齢や発達、興味に応じた絵本や紙芝居などを取り入れ、楽しみながら言葉のやりとりをしている。</p> <p>あいさつや言葉のやりとりを通してつながりを感じ、心地よい関わりが持てるようにしている。</p> <p>子どもの気持ちを汲み取り言葉にして表現したり、ゆったりと子どもの話を聞いたりする中で、人と話す楽しさや相手に気持ちが通じる心地よさをたくさん味わえるようにしている。</p>	<p>シアターや絵本の読み聞かせは、毎日、状況に応じて随時行っている。幼児クラスでは、おままごと、ブロック、製作、絵本コーナーを設け、好きなところで楽しめるよう配慮している。(コーナーの設置状況や、保育日誌等で確認した。)</p> <p>誕生会や園庭遊び、室内遊びを通して、生活に必要なあいさつなどを自分から行えるようにしている。おままごとコーナーでは、日頃の保育士や保護者をモデルにした言葉かけのやりとりもみられている。(コーナーの設置状況や、保育日誌等で確認した。)</p> <p>日常の保育場面で、保育士が、うまく伝えられない子どもの気持ちを察したり、代弁したり、仲立ちをして、言葉を補足することで、思いが通じる心地よさを味わえるようにしている。(保育日誌や、月指導計画で確認した。)</p>

<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>絵本コーナーを設置し、子どもの好きな本を自分で選んで楽しめる様にしている。また、年長児を対象に月2回ボランティアによるお話し会を行なっている。</p> <p>絵本や紙芝居、パネルシアターなどで様々な言葉の表現に触れられるようにしている。</p> <p>自分の思いをうまく表現できない子どもには、しぐさや表情などから気持ちや意志を読み取り、保育士が代弁したり、言葉を添えたりしながら気持ちが通じるようにしている。</p>	<p>絵本コーナーでは、子どもたちが好きな本を選んで楽しむことができるよう配慮している。ボランティアグループによるお話し会では、子どもたちが昔話などを熱心に聞いている。(絵本コーナーの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>紙芝居やエプロンシアター、パネルシアターは、いろいろな機会に行っている。誕生会では、3～4人で企画して、豪華で大きなものを行っている。(保育日誌等で確認した。)</p> <p>保育士が、子どもの気持ちを受け止め、うまく表現できない子どもの気持ちが通じるようにしている。(保育日誌で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>リズム遊びや体操など、保育士と一緒にこなう中で、音楽に親しみ、表現することを楽しんでいる。</p> <p>発達に応じて、様々な素材・用具に触れられるようにし、製作や絵画の活動を楽しく表現できるようにしている。</p> <p>子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなどして、次への製作意欲を育てている。</p>	<p>たなごまつりや運動会に向けて、フォークダンスや体操を行っている。1～2歳児クラスでは、リズム遊びの中で、全身を使って、音やリズムを楽しんでいる。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>製作コーナーに道具箱を置き、また、折り紙等の様々な素材や用具を置くことで、子どもたちが好きな遊びを選べるよう工夫している。(製作コーナーの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>1週間の予定表や幼児誕生表、お店やさんごっこの看板、クレヨン画等、子どもたちが作った作品を園内の多くのスペースに展示したり、活用している。(園内の様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>オープン保育の中で様々なコーナーを設定し、子どもたちが選んでじっくりと遊びこめるようにしている。</p> <p>運動会や発表会などの行事の中で、みんなで発表する場に向けて練習を楽しみながら重ねていき、人前で友だちと一緒に表現する喜びを感じられるようにしている。</p> <p>発達に応じたままごとコーナーを設定し、模倣遊びやごっこ遊びの中でイメージを膨らませて、表現する事ができるようにしている。</p>	<p>各年齢にあわせてそれぞれ、ままごと、ブロック、絵本、パズルコーナーがある。コーナーは、子どもたちの興味に合わせて、内容を変更している。(各コーナーの様子や、保育日誌で確認した。)</p> <p>運動会等に向けて、跳び箱、バレー練習、縄とび練習等を行った。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>幼児クラスでは、ままごとコーナーを2ヶ所用意している。ままごと遊びの中で、言葉のやりとりや他者との関わりを育てている。(ままごとコーナーの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p>

<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>人形劇などの行事を取り入れ、年齢に応じた紙芝居や、絵本・パネルシアターなどを見て、感性を豊かにしている。</p> <p>年齢に合わせて保育の中で積極的に運動遊具を取り入れ、楽しめるようにしている。</p> <p>発見する喜びや疑問に思う気持ちに共感することで身近なものに対する興味や関心を持てるようにしている。</p>	<p>地域のボランティア2グループによる人形劇があり、子どもたちも楽しみにしている。また、かぶと虫の絵本を読むことで、飼育しているかぶと虫を大切にしている気持ちにつながった。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>園庭には鉄棒や跳び箱、2階のテラスには、すべり台やプレイジム、三輪車等の運動遊具、また乳児クラスには巧技台を揃え、楽しめるようにしている。(運動遊具の設置状況や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>お店やさんごっこや製作では、子どもたちの気付きやアイデア等、発見する喜びを大切にしている。(手作り時計の設置や、保育日誌、写真で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>身近な生活や自然の中で不思議・発見・驚きなど、興味や関心を持ったときに経験とすり合わせられるよう保育教材を用意し、探索意欲を高めるように環境を整えている。</p> <p>小動物とのふれあいや花や野菜の栽培をしたり、生活の中で自然を身近に伝えている。</p> <p>散歩に出かけ、田名ならではの地域の特色(こいのぼり・ひな人形など)について実際に見たり、触れたりできるようにしている。</p>	<p>フィンガーペインティングや小麦粉粘土等の教材を用意し、子どもたちの不思議、驚き、興味を引き出せるようにしている。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>うさぎやかめの飼育を通したり、より興味が持てるよう昆虫図鑑を見せたりして、自然を身近に感じることができるようにしている。(図鑑の内容や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>こいのぼり見学や民族資料館までの散歩を通して、地域の特色にふれることができるようにしている。(保育日誌や、写真で確認した。)</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>展示された食べ物を見ることや、米・野菜などを育てる中で食材に興味を持ち、調理の過程に関わることを通して食事への関心を高めている。</p> <p>ランチルームや食事のスペースを使い食事時間に幅を持たせたり、個々のペースに合わせて食事の量の調整を行ったり、個人差に応じた食事をしている。</p> <p>子どもがトイレに行きたくなるような環境を作り、一人一人の排泄の间隔に合わせて意欲的にトイレに向かった時にはほめ、次への意欲につなげられるようにしている。</p>	<p>野菜は、スナックエンドウやなす、ポップコーン、お米等を栽培した。収穫した野菜類は、子どもたちのクッキングの食材となった。また、サンプルケースに本日のメニューを展示している。クッキングでは、クッキー作りにも挑戦している。(サンプルケースや食育ボード、園だより、保育日誌等で確認した。)</p> <p>11時15分から12時20分までの幅をもって、ランチルームで食事をしている。幼児クラスでは、配膳も子どもたちが行っている。(ランチルームの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>乳児クラスでは、一人ひとりの間隔に合わせて、トイレに誘っている。適時、声掛けし、子どもたちの意欲を高めている。(トイレの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p>

<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>自分でしようとする子どもの気持ちに寄り添い、ゆったりと関わって、子どもの意欲を育むようにしている。又、自分の場所をわかりやすくするため各場所に同じシールをはっている。</p> <p>個々の状態に応じて援助し、見守るなかで自信が持てるようにして、基本的な生活習慣が身につけられるようにしている。</p> <p>発達に応じた絵本や紙芝居、エプロンシアターなどで食事や休息などの健康の大切さについて知らせている。</p>	<p>2歳児では、ロッカーやタオル掛け、テラスでの靴脱ぎスペース、靴箱等を分散したり、使いやすくすることで、子どもたちが自分のペースで行えるよう配慮している。(2階のテラスの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>個々の状態に合わせ、個別の対応をして、基本的な生活習慣を身につけられるようにしている。(保育日誌で確認した。)</p> <p>食育の本をシリーズで読み聞かせ、休息や健康の大切さを知らせている。(月指導計画や、保育日誌、写真等で確認した。)</p>
---	--	--

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>オープン保育の中で意欲や自主性を育みながら、見通しをもって生活できるようにしている。又、異年齢児との関わりの中で思いやりの気持ちや意欲が持てるようにしている。</p> <p>田名ならではの地域性と豊かな自然の中で安全に配慮しながら積極的に戸外活動を取り入れている。</p> <p>季節の野菜や植物を育てたり、小動物を世話することで豊かな心が育つように働きかける。</p>	<p>オープン保育では、子どもたちが一緒に考え、気付き、確認できるようにしている。(オープン保育の様子や、保育日誌、写真等で確認した。)</p> <p>田名保育園ヒヤリハットマップを作成している。公園の「散歩マニュアル」では、危険箇所がわかるように写真を付けている。また、戸外活動では、防犯ベルを常に携帯している。(保育日誌や、写真、公園のヒヤリハットマップで確認した。)</p> <p>野菜の水やりや収穫は、子どもたちが行えるよう、週・日案に入れている。(保育日誌や、週・日案で確認した。)</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>異年齢の関わりを大切にし、少人数でゆったりと過ごせる長時間保育をしている。</p> <p>他機関と連携をとり、発達に合わせた個人別配慮ができる統合保育をしている。</p> <p>衛生面で十分配慮され、安全で静かな環境が確保されている低月齢児保育をしている。</p> <p>日本語の理解が難しい外国出身の保護者に向けて、行事や日々の保育内容等が十分理解できるよう、配布物にルビうちをしたり、連絡ノートでやりとりをし、コミュニケーションを密にしている。</p>	<p>早朝保育、延長保育では、人数も少ないため、乳幼児合同の異年齢保育を行なっている。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>障害を持つ子どもに対しては、1対1の対応を心掛けている。また療育相談室の巡回訪問をお願いしたり、障害児施設の子どもの受入れ交流も行っている。(保育日誌や、巡回訪問相談票で確認した。)</p> <p>0歳児の保育室では、食事、遊び等のスペースをそれぞれ確保し、衛生管理も徹底して行っている。(保育室の様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>外国出身の保護者に対しては、各国語の入園のしおり(英語・ポルトガル語・タガログ語・スペイン語・タイ語・韓国語・中国語)を用意したり、配布物にルビを打ったりしている。(入園のしおりや、園だよりで確認した。)</p>

<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>アレルギー児に対しては、アレルギー対応マニュアルに基づき保護者と連携をとりながらアレルギー食を進めている。また誤食がないように対応している。</p> <p>一人一人の成長にあわせて家庭と相談し、離乳食を進めている。遊びと食事の場所を変えて、落ち着いた雰囲気の中で食事をしている。</p> <p>体調不良児については全職員で周知、把握をし、遊びや生活面の配慮をしている。また、給食室と連携しながら個別に配慮した食事を提供している。</p>	<p>アレルギー児に対しては、保護者に除去する食品をチェックしてもらっている。アレルギー児用のテーブルを用意したり、色の違うトレイを使用している。(ランチルームの様子や、献立表、写真等で確認した。)</p> <p>離乳食については、連絡帳等を使用し、保護者と相談しながら進めている。(保育日誌や、連絡帳等で確認した。)</p> <p>体調不良児については、当番ノートに、朝夕、状況を確認し、全職員が周知、把握できるようにしている。(保育日誌や、当番ノートで確認した。)</p>
<p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>野菜の栽培やクッキングを通して食材に興味を持てるようにしている。幼児組ではその日のメニューに合わせた食材展示をしている。</p> <p>ランチルームでの食事を通して楽しく食べる環境をつくっている。</p> <p>保護者に向けて、食育に関する情報を提供している。</p>	<p>乳児クラスでは、ピーマンやオクラのスタンプを使って、食材に興味を持てるようにしている。(保育日誌や、写真等で確認した。)</p> <p>幼児クラスでは、ランチオープンしましたとの掛け声のもと、遊びにきりのついた子どもから順に、ランチルームを利用している。また、月に1回、保育士と給食室で献立についての話し合いを行っている。(ランチルームの様子や、保育日誌、写真等で確認した。)</p> <p>食育ボードとサンプルケースにより、保護者への情報提供をしている。保護者への試食会も催している。(食育ボードや、サンプルケース、掲示物で確認した。)</p>
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>送迎時には笑顔で接し、子どもや保護者の心身の様子について視診を行ない、保護者からの伝達事項は担任にきちんと伝わるよう当番ノートに記載している。</p> <p>連絡帳やすくすくカードを通して、園や家庭での様子を伝え合い、共通の思いを持って子育てをすすめている。また、ホワイトボードやクラスだよりを活用し、日々の子どもの様子や様子を伝えている。</p> <p>年一回担任との個人面談を実施している。また、必要に応じて育児相談を行なっている。又、個々の子どもの状況に応じ随時、面談を実施。</p>	<p>伝達事項は当番ノートに記載している。保護者からの連絡だけでなく、受入れの際、こちらからも、何かないか、ひと声、声掛けするようにしている。(当番ノートや、保育日誌で確認した。)</p> <p>連絡帳、すくすくカード、ホワイトボードだけでなく、口頭でもできるだけ伝えるようにしている。(各階のホワイトボードの内容や、連絡帳、写真で確認した。)</p> <p>担任との個人面談は、入園、進級後の5、6月に実施した。(個人面談のお知らせ等で確認した。)</p>

<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>「ハローベビー・ハローベビー離乳食・ハローキッズ」など園が主催となり、親子あそびを主にしたあそびを提供し、家庭でも一緒に遊べるよう紹介したり、話しやすい雰囲気をつくり、保護者の育児不安を解消できるようにしている。また、コミュニティ保育グループの相談園であり、活動の支援をしている。 全職員で地域子育て支援の対応を行い、地域事業を通して、園児と一緒に遊ぶ機会を提供し、子育てに関心を深めるきっかけを作っている。 近隣の公私（田名・友愛・清水）3園、また、公立4園（上矢部・陽光台・南上溝・田名）が協力して、共催の育児講座を年に2～4回実施している。</p>	<p>すくすくクラブ、なかよしクラブへの指導や援助を定期的に行っている。（地域日誌や、写真で確認した。） 地域子育て支援として、園庭を開放している。地域子育て支援に関しては、全職員で対応している。（地域日誌や、写真で確認した。） 近隣の公私3園では子どもセンターにて、公立4園ではそれぞれ地域の公民館にて、合同の活動を行っている。（地域日誌や、写真で確認した。）</p>
---	--	---